

カフェと旅館一体

シーナタウン 豊島区の空き家活用

まちづくり会社のシーナタウン（東京・豊島）は18日、豊島区の空き家活用プロジェクトの一環で、カフェと旅館が一体となった施設を開業する。同区内の空き家率は15・8%と23区で最も高く、区は空き家の再生で地域の魅力を高める構想を進めている。今回の施設は同構想から誕生した第1号となる。

同社が開業するのは「シーナと二平」。昨年3月に区が開催した「リノベーション（大規模改修）スクール」で再生を検討した案件だ。使われていなかった住宅併設型の元とんかつ店を用途変更し、1階はカフェ、2階は主に訪日客が対象の旅館とした。

カフェは1時間300円で、ミシンを自由に使

える「ミシンカフェ」。「ミシンに親しむシニアと子育て世代をつなぐ目的」（同社）という。旅館は5部屋あり、2

人で宿泊する場合、1万5120円からとする。相部屋式のドミトリも備えた。

西武池袋線椎名町駅前の商店街に立地する。カフェでは近隣の総菜店で買ったものの持ち込みも可能にする予定で、利用者の商店街内の回遊も狙っている。